

様式第2号（第9条関係）

会議録

会議の名称		令和4年度第1回ふじみ野市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会		
開催日時		令和4年7月29日（金） 開会時刻 午前10時00分 閉会時刻 午後0時10分		
開催場所		市役所 本庁舎 A301会議室		
出席した者の氏名	役職名	氏名	役職名	氏名
	会長	中村 賢一	委員	清水 泰輔
	副会長	粕谷 雄一	〃	高野 淳
	委員	新井 雅織	〃	登丸 あすか
	〃	新井 雄一郎	〃	長澤 正道
	〃	金子 明		
会議の議題		(1) 第2期ふじみ野市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂について (2) 令和3年度実施施策の効果検証について (3) その他		
会議の公開又は非公開の別		公開		
傍聴人の数		0人		
会議内容		別紙のとおり		
事務局		総合政策部 経営戦略室		
議事の確定	確定年月日	令和4年8月5日		
	記名押印	役職名 会長 中村 賢一 ㊟		

別紙

会議内容

1. 委嘱状交付式

2. 市長挨拶

3. 第2期ふじみ野市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂について（諮問）

4. 議題

（1）第2期ふじみ野市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂について
（事務局）

「ふじみ野市将来構想 from 2018 to 2030」の後期基本計画と一体化して策定することを説明。基本目標については、「総合戦略」の章を設け、基本目標や基本的な方向、数値目標を示す。施策やKPI等については、後期基本計画の施策や指標を活用し、該当する施策に「総合戦略」と付記する。

なお、基本目標及び数値目標については、原則、現在の総合戦略の内容を維持し、審議会にて意見をいただいたものについては改訂を検討する。

（審議会）

異議なし

（2）令和3年度実施施策の効果検証について

・基本目標1から4までの効果検証について
事務局（概要説明）

<主な意見等>

【基本目標1：ふじみ野市における安定した雇用を創出する】

○KPIについて累計で目標値を設定しているものがいくつかあるが、単年度ごとに評価をする本計画の性質上、累計で把握することが好ましくないものもあるように感じる。

⇒単年度ごとに節目を迎える事業については、単年度ごとの目標値を設定し、継続的な事業については計画期間の最終年度までの目標値として累計で設定した経緯がある。総合戦略の改訂にあたって、指標の設定については改めて検討する。（事務局）

○今年度の評価から達成率が記載されわかりやすくなったと感じる。しかし、KPIの評価について「達成率」としていいか疑問を感じるものもある。

全て一律にせず、指標ごとに「達成率」や「増加数」など評価の仕方を検討してはどうか。

⇒担当課と協議し、次年度以降の評価の仕方について検討する。（事務局）

○農業振興について、全国的に農業の担い手の高齢化や生産性向上のためのIoT化が課題となっている。市としては、これらについてどのように考えているか。また、総合戦略改訂の際に新しい動きは反映されるか。

⇒農業のIoT化については、耕作地のデータベース化など国が示しているものに則り、進めているところである。次期総合戦略についても、DXの視点から反映を検討していく。

また、高齢化に対する新たな担い手の創出については、基本目標2の施策7の取組になるが、農業入門塾などを通して人材育成に努めているところである。(事務局)

○産業の育成としては、若手の新産業と市の基幹産業として長年営んでいる企業の両輪を大切にしていくことが必要である。総合戦略の改訂にあたっては、新規企業と既存企業ともにより手厚い支援を検討していただきたい。

⇒現在も創業支援や空き店舗を活用した創業者への家賃補助などを実施している。他にも支援を検討している段階であるので、次期総合戦略に反映できるものは反映したいと考えている。(事務局)

○支援策は豊富にあるが使い方がわからないといった声を聴くことがある。ふじみ野市は他自治体と比較しても支援策が多いと感じるので、次期総合戦略ではそういった部分をアピールできたらいいのではないかと思う。

⇒対象者への分かりやすい制度周知は課題となっているため、相手に伝える意識を持ちながら策定を行っていく。(事務局)

○新型コロナウイルス感染症の影響で中止になった事業に対して、代替事業が一部書かれているものはあるが、その評価や効果の記載が見られない。代替事業を実施したことにより、計画通りに進まなかったとしても副次的な効果が得られているものもあると感じるため、当初の計画に縛られずに、時流にあわせて、新たに評価できる点を記載したほうが、より市民に分かりやすい資料になるのではないかと考える。来年度以降の評価についても同じ状況になることが想定されるので、評価方法について検討いただきたい。

⇒次年度以降の評価について、記載の方法を検討していく。(事務局)

○産業まつりの開催など、新型コロナウイルス感染症の影響により未達成を余儀なくされるKPIが存在する。当初設定したKPIはそのまま維持することになると思うが、代替で実施したものを数値で見せられるような補足部分があってもいいと感じる。

○市内事業所従業者数など5年に1回の経済センサスの調査でしか実績値が得られないものが数値目標となっており、単年度評価を実施するにあたっては使いづらい。総合戦略の改訂にあたっては、評価するにあたって使いやすい指標の設定を行っていただきたい。

⇒単年度評価にふさわしいKPIの設定を検討する。(事務局)

【基本目標 2：ふじみ野市への新しい人の流れをつくる】

- ふじみ野市の人口は増加が続いているか。
⇒各年 1 月 1 日時点の人口で比較すると、令和 4 年に初めて減少に転じた。(事務局)
- 減少していない自治体は非常に少ない。ふじみ野市は現状維持に近いため、今のうちに人口を維持するための施策を検討いただきたい。
- 不登校児童生徒数は全国的に増加しているが、報告書に記載の数字には新型コロナウイルス感染症の影響による登校自粛も含んでいるのか。
⇒担当課に数字の内訳を確認し、必要に応じて注釈を入れる。(事務局)
- 新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休校や、不登校児童の増加によりオンライン授業の需要が今後さらに増えてくることが見込まれる。1 人 1 台のタブレット配付は進んでいるが、家庭において Wi-Fi 環境がない児童・生徒への対応はどのようにしているか。
⇒大部分の家庭において Wi-Fi 環境が整備されていると確認している。一方で、確かに Wi-Fi 環境がない家庭もあり、そういった場合にはタブレットを使用できる教室を学校に用意したり、公共施設の無料の Wi-Fi 環境を活用して学習に取り組めるようにしている。(事務局)
- 各家庭環境にあわせて、児童・生徒に対し個別にフォローしているといった認識で良いか。また対応については、取組内容に記載したほうが良いのではないか。
⇒対応内容について担当課へ確認し、記載についても調整する。(事務局)

【基本目標 3：出産や子育てのしやすいまちを創出する】

- 子育てのしやすいまちの創出として、放課後児童クラブなど様々なインフラ整備を実施していると思う。出生数は減少傾向にあり、今後年少人口に変動はあると思うが、将来を見据えた整備計画を実施してほしい。
- 「ふじみ野市こどもの未来を育む条例」とは具体的にどのような内容か。
⇒こどもの「権利擁護」と「体力向上」を 2 本の柱に据えて構成されている。7 月 30 日にはシンポジウムを開催し、コーディネーターを交えて市民の皆さんと一緒に議論していけるような場も設けており、市民の皆さんの意見を取り入れながら施策を展開できるよう、調整しているところである。(事務局)
- 「ふじみ野市こどもの未来を育む条例」の目玉となるような取組はあるか。
⇒条例の中で「体力の向上」を謳っているのは他自治体では見受けられず、本市の特色である。また、こども・おとな・事業者の視点で権利擁護や体力の向上についての取組が記載され、市全体でこどもの未来を育んでいく内容になっている。(金子委員)

【基本目標 4：時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する】

○平均寿命の数値目標について、ふじみ野市の数値ではなく全国の数値が記載されているように読み取れる。数値がどの数値なのかを確認し、ふじみ野市の数値とわかるような記載にしてほしい。

⇒確認し、記載内容について調整する。(事務局)

○ふじみ野市はごみの少ない市県内 1 位となるなどごみの排出量が減少していると思うが、市民からするとなぜごみの排出量が少ないのか実感がわからない部分があり、報告書にも具体的な理由の記載は見当たらない。ごみが少ない理由を分析した結果などがあれば記載していただけると、子どもにもリサイクルの大切さなど、教育がしやすいと感じる。

⇒雑紙や容器包装プラスチックなど、他自治体に比べて分別が細かく、リサイクル率が高いことが削減につながっている大きな要因であると担当課からは聞いている。(事務局)

○集中豪雨や地震など、自然災害は今後いつ起こるかわからない。コロナ禍における避難所運営の在り方について、検討を進めてほしい。

⇒令和 2 年度からプライベートテントやパーティションの整備を実施している。実施内容について報告書への反映を検討する。(事務局)

○制度で救えない要救助者への支援が全国的に課題となっている。多角的な視点をもって、支援の検討をお願いしたい。

○災害が少ない地域ではあるが、想定外の自然災害への対策をぬかりないように願います。

・令和 3 年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当事業実施状況について

事務局（概要説明）

⇒意見なし

(3) その他

事務局より事務連絡

5. 閉会